

相模原市 SDGS ツーリズム推進事業

「持続可能な農業のために SDGS の現場に学ぶ」開催報告

持続可能な社会づくりにむけた、食と農にかかわる SDGS の取り組み現場を訪問。各地域で食と農に関わる方々、SDGS に関心のある皆さんのがんばりと交流の場となりました。

日 時 2025年11月27日(木)

参加者 JA 東京むさし組合員、農業・SDGs に関する人 23人

訪問 1 さがみ湖ベリーガーデン見学

相模原市緑区青野原 329

持続可能で希望と誇りの持てる農業をつくりたいと、神奈川県で初めての食とエネルギーを同時生産するソーラーシェアリングを実現。2022年にブルーベリーのポット養液栽培、養蜂などを行う体験農園さがみ湖ベリーガーデンをオープン。農園ではブルーベリーの摘み取りの他様々な体験プログラムを用意。地域と連携した6次産業化、防災への取り組みについても紹介いただきました。又、今回は事業開始のための手続きについての話に关心が集まりました。



訪問 2 アビオファーム見学と地場野菜を使用した昼食

相模原市緑区青山 3779-1

アビオファームは、都内で飲食店を経営しているオーナーが東日本大震災をきっかけに就農を決断、安心して食べることができる野菜や果物を作っている農園です。農業体験の他、バーベキュー・キャンプ、釣りなどの自然体験、又、リノベーションされた古民家では、宿泊も可能。又、定期的にマルシェを実施。地域のコミュニティ拠点ともなっていました。無農薬で自然と共生する取り組みについては、農業の持続可能性についてのヒントとなりました。又、アビオファームで作られた野菜を豊富に使ったお弁当も大好評でした。



主催 特定非営利活動法人 and Advance
協力 東京むさし農業協同組合